

大統領府、「Challenge.gov」5周年を受けて新規コンペを発表（10月7日）

大統領府は10月7日、地域・国家・世界における緊急性の高い問題に取り組むコンペを通して連邦政府と国民が協力する「チャレンジ.gov (Challenge.gov)」が5周年を迎えたことを受け、連邦省庁による新規コンペ9件の実施と、コンペに対する支援拡大を発表した。

「Challenge.gov」は、オバマ大統領が大統領就任初日に全連邦省庁に対して送付した、国民と協力する創造的手段を考案するよう奨励した覚書に応じて立ち上げられたもので、これまでに80以上の省庁が約440件のコンペを通して国民20万人超と協力して問題に取り組んできた。今回発表された新たなコンペには、教育省 (Department of Education) による、進学・就職進路選択において生徒を支援するためのアプリ開発コンペ「高キャリア到達アプリチャレンジ

(Reach Higher Career App Challenge)」や、保健資源事業庁 (Health Resources and Services Administration : HRSA) の母子衛生局 (Maternal and Child Health Bureau) による、低所得世帯の幼児に対する言語環境向上のためのコンペ「言語格差縮小チャレンジ (Bridging the Word Gap Challenge)」などが含まれる。また、一般調達局 (General Services Administration : GSA) は、「コンペのための広告・統合マーケティング・ソリューション・サービス (Advertising and Integrated Marketing Solutions for Challenges and Competitions Services)」などを含むサービスの整理・改善を行い、これらのコンペを支援する。この他、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団 (Bill & Melinda Gates Foundation) やメットライフ財団 (MetLife Foundation) などの民間団体・財団も、これらの問題に取り組むためのコンペ開催を発表している。

The White House, FACT SHEET: Administration Celebrates Five-Year Anniversary of Challenge.gov with Launch of More than 20 New Public- and Private-Sector Prizes
<https://www.whitehouse.gov/the-press-office/2015/10/07/fact-sheet-administration-celebrates-five-year-anniversary-challengegov>